

三弥井書店

Miyaishoten



新刊・既刊書籍案内 2022.5 中古文学会特別販売のご案内

価格：小社書籍全点が2割引き 送料 実費

お支払方法 郵便局＊ご注文書お届けの際払い込み用紙同封いたします
銀行振込 三井住友銀行三田通支店 当座 1025041

ご注文方法 メール publish@miyaishoten.co.jp

電話 03-3452-8069

ファックス 03-3456-0346

ホームページからもご注文いただけます
右、QRコードを読み取りください



◇お願い

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせください。
- 3 ご注文の際はいずれかに「中古文学会特別販売分」とご明記ください。
- 4 本カタログ以外の書籍は小社ホームページをご覧ください。
- 5 新刊情報やイベント情報をツイートいたします。よろしかったらフォローしてください。

和歌のタイムライン

年表でよみとく和歌・短歌の歴史

和歌文学会出版企画委員会[編] B5判・カバー装 156頁 定価：本体2000円＋税

和歌史を、記紀歌謡から万葉集へ切り替わる時代から上代・中古・中世・近世・近現代という区切りで戦後短歌の時代までを年表形式でまとめる。項目に一般事項を設け、日本史的・世界史的に起こった事柄も加え、和歌史と政治・経済社会及び美術・音楽などの諸芸能などの動きも同時に理解できるよう工夫する。

2021/11/18

目次

はじめに 和歌の年表を読む楽しみとは

◆上代◆

和歌史の始発 記紀歌謡・万葉集第一期・歌謡から和歌へ

柿本人麻呂と宮廷歌の時代 万葉集第二期・宮廷を彩る和歌

平城京と大宰府の文雅 万葉集第三期・宮廷文化の隆盛と個性の開花

大伴家持と万葉歌の終焉 万葉集第四期・聖武朝後期から孝謙・淳仁朝へ

万葉集・その後 万葉集の生成と和歌史の空白時代

◆中古◆

王朝の和歌 和歌の再興と発展

三代集の時代 古今的美意識の成立と展開

一条天皇の時代 王朝文学 百花繚乱

院政期と和歌 古代後期の終焉と中世和歌の萌芽

◆中世◆

中世の開幕 新古今和歌集と新勅撰和歌集の時代

中世の展開 後嵯峨院の時代から南北朝の時代へ

室町時代前期の和歌 武家と和歌と連歌と

室町時代後期の和歌 広がる和歌 ― 京から地方へ ―

◆近世◆

江戸前期 幕初から元禄まで

江戸中期 宝永から天明まで

江戸後期 寛政から慶応まで

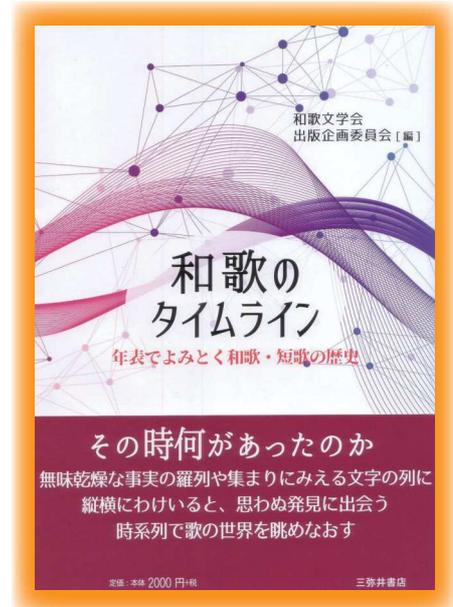
◆近・現代◆

明治維新から 和歌から短歌へ

大正時代 近代の熟成

昭和I 革新と回帰

昭和II 戦後短歌の展開



ISBN978-4-8382-3389-2

新古今増抄 1～7 7200～12000円

増基法師『いほぬし』注解 8500円

聖なる声―和歌にひそむ力 3000円

『曾禰好忠集』注解 13000円

藤原俊成一思索する歌びと 6400円

日本の書と紙―古筆手鏡「かたばみ帖」の世界 2800円

百人一首宗祇抄 1200円

歌論歌学集成 各7200円

4 袖中抄(上) 5 袖中抄(下)

7 古来風体抄・無名抄・西行上人談抄・後鳥羽院御口伝

10 為兼卿和歌抄 他・井蛙抄・愚問賢注・近来風体

11 耕雲口伝・二言抄・落書露頭・正徹物語 他

12 東野州聞書・兼載雑談

14 資慶卿口授・和歌聞書・等義聞書

15 麓木抄・詞林拾葉・烏丸光榮卿口授

16 清水宗川聞書・梨本集・用心私記

絶滅したオオカミの物語

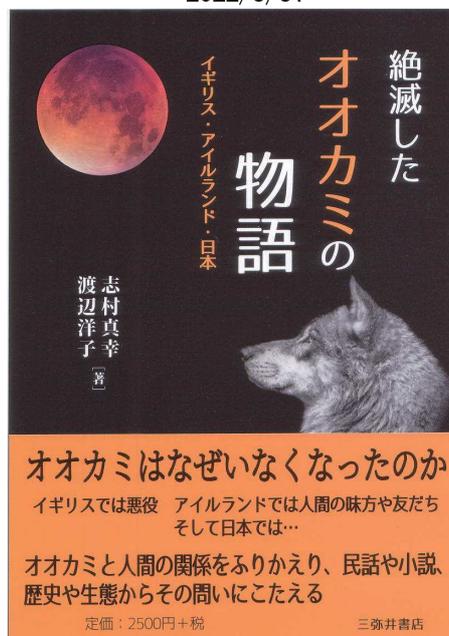
志村真幸・渡辺洋子著 A5判・カバー装 300頁 定価：本体2500円＋税

かつてイギリスとアイルランドに生息し、様々な要因で絶滅したオオカミの物語を紹介。物語だけではなく、イギリス、アイルランド、さらに博物学者南方熊楠を通して、日本をふくむ、オオカミの歴史、オオカミに対する各国の人々の心情など、オオカミと人間の関係をふりかえり、民話や小説、歴史や生態から絶滅の経緯を明らかにする。

2022/3/31

目次

- イギリスのオオカミとアイルランドのオオカミ
- 1 「最後のオオカミ」の物語
- 2 羊に追いつめられたオオカミ
- 3 イギリスの自然は「優しい」
- 4 イギリスへふたたびオオカミを？
- 5 アイルランドのオオカミ—イギリス統治以前
- 6 イギリス植民地下のアイルランドとオオカミ
- 7 民話に見るオオカミとアイルランド人
- 8 蒐集されるオオカミと脱走するオオカミ
- 9 人狼たちのイギリス
- 10 南方熊楠とオオカミ—人間に化けるオオカミたち
- 11 オオカミに育てられた子オオカミたちの行方



ISBN978-4-8382-3393-9

関連書 ■妖精の棲む島 アイルランド 2700円

■鳥獣虫魚の文学史 獣の巻 鳥の巻 虫の巻 魚の巻 各2800円 ■中世鷹書の文化伝承 7500円

猿蟹合戦の源流、桃太郎の真実

—東アジアから読み解く五大昔話

5月25日刊行予定 予約可！！

斧原孝守著

46判・カバー装 250頁 定価：本体2800円＋税

日本で語り継がれる昔話はいつごろ、どこで誕生したのか。

「猿蟹合戦」・「桃太郎」・「舌切り雀」・「かちかち山」・「花咲か爺」の五大昔話を取り上げ、登場するキャラクターやストーリーの構成、話の背景を、日本各地に伝わる類話のみならず、日本にほど近い東アジアの諸民族に伝わる類似する話と突き合わせ、同意を明らかにしながら、誕生の源を検討する。日本の話と諸外国の話と比較する。

目次

- 第1章 猿と蟹はなぜ争うのか？ / 第2章 「猿蟹合戦」はどこで生まれたか？ /
- 第3章 「桃太郎」とキビ団子 / 第4章 「桃太郎」らしくない「桃太郎」 /
- 第5章 「舌切り雀」はどこから来たか？ / 第6章 爺はなぜ「舌切り雀」を追いかけるのか？ /
- 第7章 「カチカチ山」と狸の婆汁 / 第8章 狸はなぜ、兎にだまし続けられるのか？ /
- 第9章 「花咲か爺」は日本生まれの昔話か？ / 第10章 「花咲か爺」の犬はどこから来たのか？

関連書 ■昔話から御伽草子へ 5500円 ■中国のグリム童話 2800円 ■グリム童話と日本昔話 2800円

■昔話の読み方伝え方を考える 2800円 ■瓜子姫の死と生 3500円 ■現代に共鳴する昔話 2800円

■イソップ絵本はどこからきたのか 3000円 ■中国神話の深層 4500円 ■他

大和言葉集

伝承文学注釈叢書 3

徳田和夫・菊地仁・小林健二 編著 A5判・242頁 定価：7500円＋税

大和言葉とは、古歌から生成した恋の文句や、宮中での女房詞をいう。また、そこに遊戯的に派生した謎かけの文辞も含むものである。室町後期のお伽草子や、江戸初期の説経浄瑠璃にその用例を多く見る。かかる題の辞書も編まれ、類例が民間にも伝わってきた。

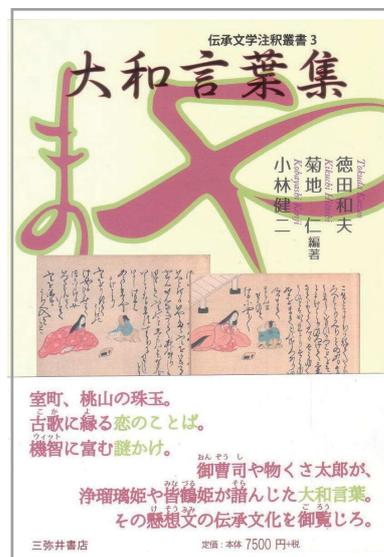
ここに解説と事例集を掲げ、代表的な一本を翻刻し、注釈をほどこした。付録編に他本翻刻、証歌・事項索引、関係論文・研究書目録を配した。以て、伝承文学の一斑とした。

内容目次

- 恋のことばと謎かけ―「大和言葉」導き―
 お伽草子・語り物にみる大和言葉・謎かけ事例集
 底本書誌 付、参考A・B・C本 略書誌 小林健二
 『大和言葉』翻刻・注釈・補注
 主筆 菊地仁 共同討議 徳田和夫・小林健二
- ・凡例
 - ・翻刻・注釈・補注
 - ・引用文献一覧

徳田 和夫
徳田 和夫

2020/11/12 発行



ISBN978-4-8382-3373-1

付録編

- ・A本（近世初期写本、一冊）翻刻
- ・B本（近世初期写本、一帖）翻刻
- ・底本・A本・B本 証歌索引
- ・底本 項目索引
- ・『大和言葉』複製・翻刻・関係論文・研究書 目録

豊後節系 浄瑠璃集

伝承文学注釈叢書 2 安田文吉・安田徳子 校注 A5判・242頁 定価：7500円＋税

浄瑠璃の段物や歌舞伎の道行、景事を語り、多彩で変化に富み、リズムカルな拍子と印象的な旋律で歌舞伎の中で高揚した一局面を担った。底本には最古本を選び、翻刻本文は詞章のみならず、ルビ・文字譜等可能な限り原本の再現を試みる。注釈は音楽性の高い本資料を鑑み、語句および語り口や曲節・文字譜について施す。

2020/6/17 発行



ISBN978-4-8382-3368-7

予章記

伝承文学注釈叢書 1

佐伯真一・山内謙 校注

A5判・266頁 定価：5800円＋税

伊予の『古事記』であり、『平家物語』であり、そして室町の現代史である。伊予中世史研究の基本文献。記紀的神話伝承や文書・文献の引用、創作などが混然一体となった河野氏の歴史叙述の方法に伝承の可能性を見出す。

2016/10/12 発行



ISBN978-4-8382-3306-9

シリーズ続巻書目一覧

説教才学抄／筆結物語・十二類絵巻／神道集／医談抄・医家千字文注◆他

伊勢物語 現代語訳・索引付

大井田晴彦 校注

A5判・上製・335頁 定価：本体4500円＋税

日本文学史上、最も親しまれてきた古典作品の一つである『伊勢物語』。文学のみならず、美術、芸能など、さまざまな領域に多大な影響を与えてきた。

現代語訳：本文に忠実であるだけでなく本文と現代語訳を上下に配し適宜語句を補い、単独でも味読できる形式を工夫。

語釈・補注：語義・文章表現・和歌の他出・典拠・時代背景・人物考証など、本文理解に必要な事項について説明。

鑑賞：各段の特徴や魅力について、いっそう理解を深めるべく、より踏み込んだ読解を試みる。

解説：『伊勢物語』の全体像や文学史的意義、在原業平の人物像など、本質的かつ重要な問題について示す。

2019/10/11刊行

伊勢物語

現代語訳・索引付

大井田晴彦 Haruhiko Oda 校注



みやびの諸相・うたの力

春日野の若葉、万川、八橋、都鳥、筒井橋、花婿の春、夢あうつつか、交野の春、さらぬ別れ、つひとゆく道

和歌が響き出す125の物語

『伊勢物語』の語釈・補注には、和歌の他出・典拠・時代背景・人物考証など、本文理解に必要な事項について説明。

定価：本体4500円＋税

三洋館書店

ISBN978-4-8382-3356-4

百人一首宗祇抄 姉小路基綱筆

小川剛生 著 A5判・カバー装 定価：1200円＋税

連歌師宗祇が東常縁の教えを受けまとめた注釈書。百人一首最初の注釈書の中でも最古写本の一つとして古典研究に史上きわめて有益な資料。慶應義塾大学斯道文庫本。

ISBN978-4-8382-3335-9

2018/4発行



皇后になるということ

榊原千鶴著

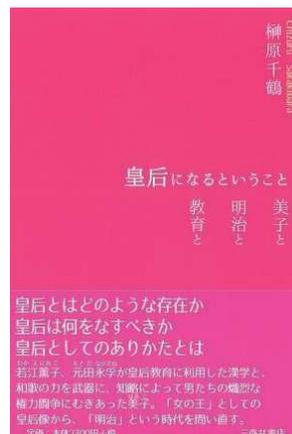
46判・カバー装・240頁

定価：本体2300円＋税

美子と明治と教育と

国家権力に最も近く、明治期の女性教育において先導的役割を担った皇后美子を通して明治初期の教育の一端にアプローチする。美子になされた皇后教育と、美子が女性教育に果たした役割を考え、イメージで語られがちな「明治の精神」の内実を問う。

2019/12/18刊行



皇后になるということ

美子と

明治と

教育と

皇后とはどのような存在か
皇后は何をなすべきか
皇后としてのありかたとは

若江篤子、元田米学が皇后教育に利用した漢学と、和歌の力を武器に、知識によって男たちの熾烈な権力闘争にまきあつた美子。「女の王」としての皇后像から、「明治」という時代を問い直す。

定価：本体2300円＋税

榊原千鶴

美子と

明治と

教育と

三洋館書店

内容案内

第一章 天皇のために！ 問われる覚悟

第二章 ふたりの指導者と「嫉妬はするな」の教え

第三章 武器としての学問

第四章 国民への道徳教育『明治孝節録』

第五章 新しい時代の模範的女性像『婦女鑑』

ISBN978-4-8382-3357-1

東海道五十三次をよむ

鈴木健一編 A5判・カバー装 288頁 定価：2800円＋税

温泉と関所、富士山の絶景、七里の渡しの船旅、難所鈴鹿峠越えなど。日本橋を出発し三条大橋まで見所満載の東海道五十三次。江戸文学のみに登場する五十三次の姿を追い、各地にまつわる歴史・美術・宗教、さらに江戸以前の『伊勢物語』や『更級日記』や近代の東海道など、旅するかのごとく訪れる。

目次

序 ようこそ、東海道の旅へ 鈴木健一

第一章 江戸時代I (東京・神奈川)

日本橋の出立は朝が早い 藤澤 茜

遊行寺の門前町藤沢宿ところどころ 関原 彩

小田原のいろいろは何に効くのか？ 古庄るい

箱根、温泉と関所 壬生里巳

コラム 五十三次さまざま 1 東京～神奈川

第二章 江戸時代II (静岡・愛知)

石川丈山の富士山詩を読む 鈴木健一

薩埵峠から富士山を望む 田代一葉

名物「十団子」とは？ 永田英理

御油宿、弥次さん喜多さんと狐 藤井史果

コラム 五十三次さまざま 2 静岡～愛知

第三章 江戸時代III (三重・滋賀・京都)

七里の渡し、どんな船旅だったのか？ 大関 綾

おかげ参りと抜け参り 吉丸雄哉

難所鈴鹿峠越えを行く 久岡明穂

ついに三条大橋を渡った！ 田中 仁

コラム 五十三次さまざま 3 三重～滋賀～京都

第四章 江戸時代以前・以後の東海道

『伊勢物語』『東下り』 鈴木宏子

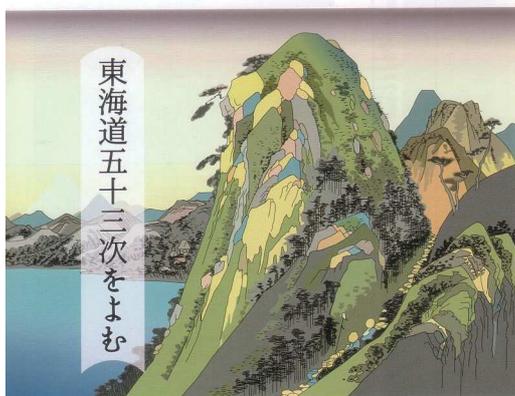
『更級日記』 千野裕子

『海道記』『十六夜日記』の海辺 毛利香奈子

岡本かの子「東海道五十三次」 赤井紀美

2020/10/30刊行

【編】鈴木健一



箱根の温泉と関所、富士山の絶景、七里の渡しの船旅、難所鈴鹿峠越えなど日本橋を出発し三条大橋まで見所満載の東海道五十三次。

江戸文学のなかの五十三次。各地にまつわる歴史・美術・宗教、さらに江戸以前の『伊勢物語』や『更級日記』や近代の東海道はどんなふうにかかれたのか。ガイドブックとは異なる視点から知識を蓄え、江戸時代にタイムスリップした旅へと誘う。

定価：本体 2800 円＋税

三井書店

ISBN978-4-8382-3374-8



関連書籍

鳥獣虫魚の文学史 日本古典の自然観
1 獣の巻 2 鳥の巻 3 虫の巻 4 魚の巻 定価：各2800＋税

天空の文学史
1 太陽・月・星 2 雲・雪・風・雨 定価：各2800円＋税

海の文学史 定価：2800円＋税

浜辺の文学史 定価：2800円＋税



桃太郎の発生 世界との比較から見る日本の昔話、説話

花部英雄 著 A5判・カバー装 326頁 定価：3080円本体：2800円

日本各地に歴史的事実として地名や関係物が保存・顕彰されながらその素性がはっきりとしない『桃太郎』。説話や話型、素材を軸にバラエティー豊かに発生、成長する変化の姿を、日本・アジア・ヨーロッパなどの類似のストーリー展開を持つ話と比較し、世界から見た日本の昔話の特徴を素描する。

目次

I 桃太郎の内と外

「桃太郎」の発生

二つの「桃太郎の誕生」／「桃太郎」伝承の趨勢／「鬼の子小綱」と「桃太郎」／「桃太郎」の近世、近代

「鬼ヶ島」の形成

昔話の「鬼ヶ島」／「鬼ヶ島」の形成I／「鬼ヶ島」の形成II／「鬼ヶ島」の二面性

「桃太郎」の素性

桃太郎研究概観／口頭伝承の桃太郎／「猿蟹系桃太郎」と文芸／

仇討モチーフの伝承／アジアの討伐モチーフ

「桃太郎」、世界へ行く

「桃太郎」の先行研究／型破りの桃太郎／「力太郎」と「六人男世界歩き」／

桃太郎とAT513「援助者たち」

「桃太郎」から見る昔話研究史

問題の所在／江戸期の「桃太郎」研究／明治期の口演童話／大正期の童話研究／

昭和の民俗学的研究／昔話の比較研究法

II 異類婚姻譚の国際比較

「蛇婿入」の国際比較

先行研究概観／「天稚彦草子」と「グビドーとフシケー」／

世界の異類婚姻譚の比較／日本の「蛇むこ入」の解釈

異類婚姻譚における殻・皮・衣とはなにか

人間界を訪れる異類／異類との婚姻と離別／変身としての殻・皮・衣／「蛙息子」の霊性

「一寸法師」と「田螺息子」

御伽草子「一寸法師」と武家の時代／昔話「一寸法師」のサスタイス／世界の「親指小僧」と「一寸法師」／「一寸法師」と「田螺息子」

「嫁の輿に牛」の風土性

日本の昔話「嫁の輿に牛」と説話・物語／世界の「嫁の輿に牛」の展開／昔話「嫁の輿に牛」の国際比較

III 昔話、説話モチーフの国際比較

昔話「藁しべ長者」の主題と形式

「藁しべ長者」の先行研究／日本の「藁しべ長者」のサスタイス／世界の「藁しべ長者」の交換の種類と形態／

日本の「藁しべ長者」の源流と伝播

アジアの「猿地蔵」

先行研究と問題の所在／国内における「猿地蔵」の伝承／アジアの中の「猿地蔵」／比較から見えてくる「猿地蔵」

イソップ寓話と「鳥獣合戦」

イソップとイソップ寓話集／イソップ寓話集の「鳥獣合戦」／「変節」をめぐる動物たちの話／イソップ寓話と戦争

「走れメロス」の説話世界

「猶予／人質」モチーフとその類話／ピュタゴラス派とギリシャ神話／アラブ世界の「猶予／人質」モチーフ／「千夜一夜物語」とイスラーム世界

「西行発心のおこり」の内と外

注釈と口承の「術婆迦説話」／口承における「西行発心譚」／「大智度論」「術婆迦説話」の周辺／「杵物語」と説話の機能

2021/4/14発売 3/31発行



ISBN978-4-8382-3382-3

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

FAX 03-3456-0346

桃太郎の発生

ご注文数
冊

貴店印

送り先・書類の宛先

私費 公費 いずれか〇を付してください

城郭の怪異

二本松康宏・中根千絵 編著

A5判・カバー装 222頁

定価：2750円本体：2500円

滅んだ城、滅んだ領主、滅んだ地主神への土地の人々の哀惜の念が宿る城郭の怪異。不思議な怪談や奇譚を伝える東西10の城を、歴史学と伝承学から見渡し、怪異の生成や伝承の背景を紹介する。歴史の裏に埋もれた城にまつわる「闇」の魅力が明らかにされる。

2021/6/24発行

目次

城郭の怪異を訪ねて◇二本松康宏

会津若松城—怪異が導いた創建伝説 ◇小田倉仁志

駿府城—謡の呪いと狐、狸、封の怪 ◇中根千絵

浜松城から江戸城へ—徳川将軍家の闇 ◇堤 邦彦

松本城—二十六夜神の神秘 ◇二本松康宏

名古屋城—見守る櫓と天狗と狐たち ◇林 順子

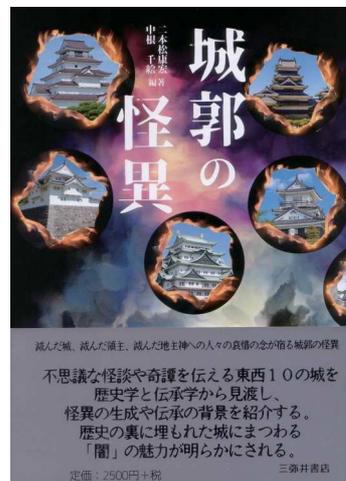
伏見城—落城の記憶と血天井 ◇久留島 元

大阪城—豊臣家の怨霊 ◇北川 央

姫路城—変遷するオサカベ ◇三宅宏幸

松江城—伝説をつなぐ祈禱櫓 ◇菊池庸介

松山城—蒲生家の断絶と残された景色 ◇南郷晃子



ISBN978-4-8382-3384-7

疫病と日本文学

日比嘉高 編

46判・カバー装 254頁

定価：2750円本体：2500円

個々の作品や各時代の分析を行い、総体的に歴史の変遷を中古から現代に至る千年のスパンで明らかにする。文芸の言葉が見えない疫病を「可視化」し、時代の中で疫病がもたらした社会変動と人の心や感性への影響がいかなるものだったのか個々の作品を通じてうかびあがらせる。

2021/7/15発行

目次

はじめに 疫病と日本文学—千年の表現史を追う [日比嘉高]

■疫病の今をよむ

パンデミック小説の地図を書く [日比嘉高]

コラム 生き延びていくために

—金原ひとみ「アンソージャル ディスタンス」と「腹を空かせた勇者ども」[飯田 祐子]

俳句と疫病—コレラとコロナウィルスの句を読む [藤田 祐史]

コラム 疫病と日本語 [宮地 朝子]

鬼は“そこ”にいる、しかし“それ”は遍在する—疫病とエクリチュールと [高木 信]

コラム 隠喩としての「戦争」、隠喩としての「埋葬」

—閻連科と方方の文学から疫病を考える [尹 芷汐]

■疫病をふりかえる

人喰い鬼と疫病神—「大正」を襲った「流行感冒」[島村 輝]

コラム 伝記にみる医師とコレラ [榊原 千鶴]

中世説話の「心」をもつ病—『今昔物語集』を中心に [中根 千絵]

コラム 疫病を表象する信仰の文学瞥見 [近本 謙介]

コロナとコロリ—幕末の江戸災厄体験記の奇書『後昔安全録』とその著者について [塩村 耕]

王朝文学における疫病 [大井田晴彦]



ISBN978-4-8382-3383-0

神楽の中世

——— 宗教芸能の地平へ

山本ひろ子・松尾恒一・福田晃 編
A5判・上製カバー装 392頁
定価：7480円本体：6800円

ダイナミズムと生命力が躍動する神楽の場をよみがえらせ神楽研究の壁を破る。神楽の迷宮に「宗教芸能」としての道筋を貫く。神楽と称される列島各地行事・祭りから、興味深く、かつ重要と思われる用語を選び考察を加えた「神楽詞華集」。豊潤な神楽の世界へ道しるべとしての試みが今始まる。

目次

2021/6/24発売 5/25発行

◆提題に代えて◆

よみがえる中世の神事たち—備中吉備津宮の祭礼（山本ひろ子）

プロローグ／備中一宮・吉備津宮へ／吉備津宮の年中行事（上）／吉備津宮の年中行事（下）／遷宮と神事芸能／エピローグ

◆神楽の成立とその歴史◆

佐陀神能をめぐる宗教者と祭祀—神能成立の過程を中心に（岡 宏三）

問題の所在／中世佐陀大社・神主家の特質と祭礼、芸能／室町期における佐陀大社と神楽／検校吉岡氏の禰宜職宮川氏の台頭／高宮社の主張と佐陀神能の成立

神子と修験—黒森神楽をめぐる（神田より子）

はじめに／一 中世への視座／二 近世期の神子、修験そして神楽／三 修験と神楽／四 訴訟から見えてくるもの／五 神子の活動／まとめ

◆神楽の庭へ◆

法者神楽の法脈—甲賀・油日神社、対馬・八幡宮、豊後・柞原八幡宮（福田 晃）

はじめに／一 近江、甲賀郡総社「油日神社」／二 対馬・一宮の「八幡宮」／三 豊後・一宮の「柞原八幡宮」／おわりに—叡山穴太流と両部神道流神楽

天龍川水系の神楽—オコナイと霜月祭から（櫻井弘人）

一 中世的な芸能の宝庫／二 霜月神楽の季節・日時・時刻／三 湯立／四 面形舞とシズメ／五 祭りの意味づけと数／六 霜月神楽と立願／おわりに

◆神楽の担い手たち—法者と呪師◆

両部神道と神楽 | 「法者」の伝承を辿る（福田 晃）

はじめに—西日本における「法者」の伝承／一 両部神道の誕生／二 両部神道流神楽の成立／おわりに—両部神道と諸国一宮

呪師の芸能と神楽—備前一宮祭礼を中心に（宮嶋隆輔）

はじめに／備前一宮祭礼と郷村祭礼／一宮・御田植神事の御幡行列と伝供／神子・楽頭による御神楽と神主の祈念／呪師走りと反閨について／王の舞と呪師芸能／かいなさしについて／備前一宮・御田植神事の特徴／在郷の神子・法者による神楽／一宮の神子・楽頭の性格／遷宮出仕と反閨／〈一宮の呪師〉と神楽

◆宗教芸能としての神楽◆

「鐘巻」のドラマトルギー—能と早池峰神楽をめぐる（山本ひろ子）

はじめに—『法華験記』と『今昔物語』の道成寺説話／I 「道成寺縁起」と能「道成寺」／II 早池峰神楽「鐘巻」の芸能的達成

仮面の呪術・祭祀・芸能としての神楽へ（松尾恒一）

一 世阿弥の猿楽能神楽起源説／二 寺院の儀礼、芸能の猿楽能／三 魑魅魍魎を鎮める宗教儀礼／四 神楽における鎮めの呪法／五 世阿弥の猿楽能神楽起源説、再考／六 唐代の仏教儀礼、仏菩薩への祈願と民俗神の祭祀

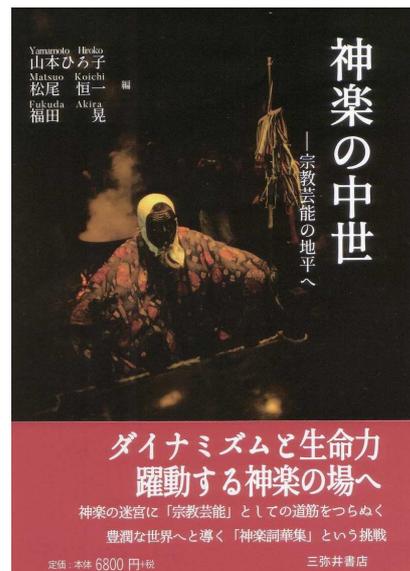
◆研究展望◆

神楽研究の再構築へ向けて（鈴木正宗）

はじめに／一 鎮魂とは何か／二 鎮魂の近代／三 鎮魂と神楽／四 近代における神楽の創出／五 中世神楽をめぐる諸問題／六 浄土神楽をめぐる／七 『神楽源流考』への疑義／八 再び中世神楽へ／九 死者供養の神楽／十 神楽研究の可能性

◆神楽詞華集 小さなキーワード集の試み◆

一 霜月神楽からおくなくいへ／二 西国の神楽から／三 舞殿と装置／四 儀礼と呪法／五 土地の精霊と異神たち



ISBN978-4-8382-3386-1

昔物語治聞集

中根千絵・加美甲多・久留島元 編著

A5判・並製・196頁 定価：本体2700円＋税

貞享元年(1684)に出版された説話集。内容は『宇治拾遺物語』と『古今著聞集』から説話を抽出し編纂しなおしたもの。元禄14(1701)年板『昔物語治聞集』刊本6巻7冊(東北大学附属図書館「狩野文庫」)を底本とする。江戸時代初期に流行した軍記物語の登場人物や物、身近な古社の由来、『和漢朗詠集』などの文化的教養を面白く取り入れられることをもくろんで編纂されたと思われる。近世における、説話への興味・関心、連想の在り方をうかがい知る重要な書物の翻刻本文と全ての挿絵を公開する。

目次

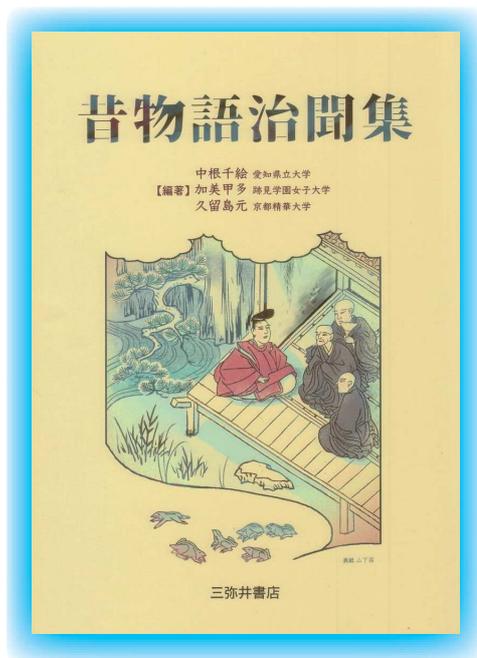
凡例／まえがき／解説／序から巻7／あとがき

1例：巻1目録

目録

- 第一 上総守時重日吉の神感に預る事(聞7)
- 第二 水無瀬山の池人との事(聞603)
- 第三 哥の徳により風波の難をのがれし事(聞165)
- 第四 陽成院ばけものゝ事(治158)
- 第五 広貴妻の訴により閻魔王宮へめさるゝ事(治83)
- 第六 ぬすびと鬻策を感じる事(聞429)
- 第七 武徳殿ばけものゝ事(聞589)
- 第八 修行者百鬼夜行にあふ事(治17)
- 第九 三河といふ童発心の事(聞323)
- 第十 法花経聴聞する猿の事(聞680)
- 第十一 双六の口論にて人をころす事(聞504)
- 第十二 あづま人生贅をとゞむる事(治119)
- 第十三 山門の僧鬼になる事(聞495)
- 第十四 絵仏師家の焼るをみてよろこぶ事(治38)
- 第十五 蛇針におそれし事(聞694)
- 第十六 浄蔵法師前生の屍にあふ事(聞46)
- 第十七 御堂関白殿の犬晴明等きとくの事(治184)
- 第十八 雲客ふな岡にゆきて虫ふく事(聞587)
- 第十九 清水寺の額彩色で不思議ある事(聞290)
- 第二十 春日の御告にて伊房額を書事(聞293)
- 第二十一 高野大師を五筆和尚といふ事(聞293)
- 第二十二 虎の鱔をとる事(治39)
- 第二十三 道命阿闍梨いづみ式部の許にて読経五条の天神聴聞の事(治1)
- 第二十四 空也上人念仏すゝめ給ふ事(聞47)
- 第二十五 同き上人の臂観音院僧正いのり直す事(治142)

2020/10/8 刊行



ISBN978-4-8382-3371-7

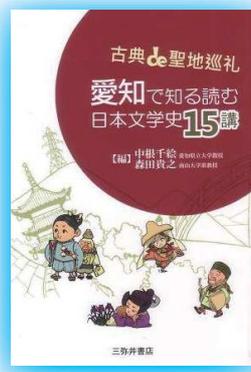
改訂版 愛知で知る読む日本文学史15講 古典で聖地巡礼

中根千絵・森田貴之 編

46判・216頁・定価：1800円＋税

【目次】

- 第一講 熱田 「日本書紀」／第二講 引馬野 「万葉集」／第三講 古渡 「日本霊異記」／第四講 八橋 「伊勢物語」
- 第五講 国府 「古今著聞集」／第六講 犬頭神社(三河) 「今昔物語集」／第七講 兎足神社 「宇治拾遺物語」
- 第八講 野間 「平治物語」／第九講 阿波手の杜 謡曲「反魂香(不逢森)」／第十講 津島 狂言「千鳥」
- 第十一講 甚目寺 室町物語「姥皮」／第十二講 矢作 古浄瑠璃「浄瑠璃御前物語」／第十三講 伊良湖岬 「笈の小文」
- 第十四講 清洲 「絵本太閤記」／第十五講 有松・鳴海・笠寺 「東海道中膝栗毛」



好評二刷り出来

絵解く 戦国の芸能と絵画

描かれた語り物の世界

小林健二編 B5判・カバー装・216頁 定価：3500円＋税

室町後期に語り物芸能として愛された幸若舞曲。16世紀末には絵巻や絵本などの絵入り物語として広く享受された。

語り物芸能が絵画化し、流布する様相と文化史的意義を、国文学と美術史学の視点で解明。カラー版で紹介する。

未紹介資料として、個人蔵『源義経一代記図屏風』、手銭記念館蔵『烏帽子折物語絵巻貼付屏風』を収録。巻末に「幸若舞曲絵入本一覧」を付す

内容案内

2020/3/19刊行

◆序論 描かれた語り物の世界

『源義経一代図屏風』を読む 小林健二

手銭記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻 桑汐里

◆平家物語図扇面画帖を読む

海の見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」について

―場面解釈と本文離れをめぐる検討― 鈴木彰

江戸時代前期の平家物語図扇面について

―海の見える杜美術館所蔵「平家物語扇面画帖」を中心に― 龍澤彩

◆幸若舞曲・古浄瑠璃を描く

語り物系絵巻をめぐって―附『堀江物語絵巻』断簡四枚紹介― 石川透

ベルリン国立アジア美術館蔵《烏帽子折絵巻》―分析と分類― 酒井公子

江戸前期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作

―「大織冠」と「敦盛」を例として― 恋田知子

風俗表現と物語絵―『むらまつ』の場合― 齋藤真麻理

◆絵師と筆者

狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作 谷川ゆき

作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について 下原美保

賀茂別雷神社若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納 海野圭介

◆付篇

幸若舞曲絵入り本一覧



ISBN978-4-8382-3364-9

お問い合わせ

FAX 03-3456-0346

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

ご注文数
冊

貴店印

送り先・書類の宛先

私費 公費 いずれか〇を付してください

安居院の研究 能説の系譜と水系の信仰

清水眞澄著 A5判・上製本・カバー装 568頁 定価：本体10000円＋税

日本中世の説教僧に、能説と称えられる一流があった。その興亡の歴史は、人と水系の信仰史に重なる。本書は、彼らの拠点であった安居院の組織、所領の検討から福祉救済の場、悲田院に及び、中世研究に新たな視座を拓く。

目次

2022/2/15

I 水系の信仰—安居院流唱導の誕生

序章 安居院流の始原／第1章 宗像信仰と高階氏／第2章 信西の時代／第3章 院家としての安居院／第4章 初世澄憲の時代／終章 澄憲の周縁

II 救いへの希求—安居院流唱導の展開

序章 聖覚と桜下門跡領／第1章 「安居院相伝目録」の世界／第2章 安居院流と大原／第3章 二世聖覚の時代／第4章 安居院流と東国／終章 聖覚と信西一門

III 院家と救済—安居院流唱導の興亡

序章 安居院流の系譜／第1章 安居院の使命／第2章 安居院悲田院／第3章 安居院流の転換／第4章 安居院の変容／第5章 安居院の終焉
終章 その後の安居院



ISBN978-4-8382-3390-8

中世奥羽の自己認識

入間田宣夫 著 46/ 上製本・364頁・定価：本体 3000 円＋税

中世奥羽の言説空間に生きる人びとが京・鎌倉から吹き寄せる文化的影響中でいかに自前の系譜認識と、自らのアイデンティティを築き上げたのか。平泉藤原・津軽安藤(東)・伊達・和賀・閉伊・大江・柏山・戸沢・津軽ほか人々の換骨奪胎、反転・逆転から生まれた物語を歴史的な観点から吟味・考究する。物語の背景に横たわる歴史的環境について、在地にねざした歴史学と国文学双方の視点で究明を試みた書。

I 京・鎌倉の西南風が吹きよせるなかで／II 語りもの文学から歴史学へ／III 人から神へ—本地物語における基本的なスロットについて
IV 平泉伝説のゆくえ／V 北方海域における境界儀礼と在地信仰の風景

歴史のなかの音

音がつなぐ日本人の感性

2021/7/2発行

笹本正治著 46/ 並製本・定価：本体 2700 円＋税

歴史の場で響き渡り、戦乱の世にとどろく人間が生み出す音。神の動き、異変や事件を伝える人他界から届く音。

日本の歴史において音にはどのような意味と目的があったのか。中世から近・現代まで時代や地域に流れる豊かな音の世界を往来する。



第1章 音への視点／第2章 鳴動と中世の音／第3章 変化する音への意識

ISBN978-4-8382-3387-8

英雄伝承の誕生 蒙古襲来の時代

福田 晃著 A5判・上製本・カバー装 498頁 定価：本体7500円+税

中世期の本地垂迹思想から、文永・弘安の蒙古襲来を契機に反本地垂迹思想へと変貌し、神国日本の思潮の幕開けとなる。日本独自の民俗思潮が生み出した英雄像を追う。民俗的イデオロギーを明らかにする伝承歴史学という試み。

目次

序—蒙古襲来と英雄伝承

第1編 「百合若大臣」の誕生—宇佐八幡の鷹と鍛冶

第1章 日本の「百合若大臣」—幸若・説経・古浄瑠璃 / 第2章 「百合若大臣」の原拠を尋ねる

第3章 「百合若説経」（吉岐・対馬）の伝承世界 /

第4章 「百合若説経」と幸若・説経・古浄瑠璃 / 結章 「百合若大臣」の生成

2021/11/26

第2編 日本の英雄伝承

第1章 日本の語り物文芸—英雄叙事詩をめぐって /

第2章 「百合若大臣」「甲賀三郎」の伝承世界

第3章 英雄伝承としての「田村三代」—馬飼文化と観音信仰

第3篇 聖徳太子の変貌

第1章 聖徳太子の兵法—文保本系「太子伝」をめぐって /

第2章 聖徳太子流兵法の行方—「油日大明神縁起」をめぐって



福田晃先生関連書

■神道集説話の成立【在庫僅少】18000円

折口信夫・筑土鈴寛の提唱した唱導文学の研究を、中世の神々の物語である『神道集』によって展開する、著者の半生をかけた論攷編である。

■曾我物語の成立 16000円

曾我御霊鎮魂の《語り》から、宗教・歴史・民俗・政治が複雑に絡みあいながら『曾我物語』の誕生に至る足跡を、実証的な方法を用いて解明を試みる。

■神語りの誕生—折口学の深化をめざす 9800円

折口学が説く「国文学の発生」の仮説を巫女、神女からの聞き取りや実地探訪調査から解明する。

■昔話から御伽草子へ—空町物語と民間伝承 5500円

日本固有の精神世界のなかで豊かな土壌を築き上げた民間伝承。民間文芸と記載文芸をつなぐ道筋を解き明かす。

■安居院作『神道集』の成立 8500円

『神道集』は誰によって編まれたのか。安居院流唱導僧の東国における活動の実態と教学・文書・縁起類を丁寧に分析しその問いに答える。

■放鷹文化と社寺縁起 8500円

自然(白鳥)と文明(鍛冶)のはざまを拓く放鷹文化。日本における社寺縁起の原風景に迫る。

■甲賀忍者軍団と真田幸村の原像 1700円

諏訪縁起など中世の縁起物語で知られる甲賀三郎物語。甲賀三郎を祖と仰ぐ望月氏の系譜を紐解く。

■唱導文学研究第1～12集 完結 各7670～8500円

■鉄文化を拓く 炭焼長者 4500円 ■鷹と鍛冶の文化を拓く 百合若大臣 4500円

■英雄叙事詩 アイヌ・日本からユーラシアへ 3500円

■講座日本の伝承文学1～10 完結

1 伝承文学とは何か4368円 / 2 韻文文学〈歌〉の世界5335円 / 3 散文文学〈物語〉の世界5335円 /

4 散文文学〈説話〉の世界 / 5 宗教伝承の世界5500円 / 6 芸能伝承の世界5500円 /

7 在地伝承の世界【東日本】5800円 / 8 在地伝承の世界【西日本】5800円 / 9 口頭伝承〈トナエ・ウタ・コトワザ〉の世界 / 10 口頭伝承〈ヨミ・カタリ・ハナシ〉の世界 品切れ

■幸若舞曲研究1～10 別巻 事典・総索引 各8252～10485円 完結

■中世語り物文芸 2524円 ■伝承文学の視界 2200円 ■日本文学の原風景 2900円

■神話の中世 2500円 ■沖縄の伝承遺産を拓く 2800円

■琉球の伝承文化を歩く八重山・石垣島の伝説昔話(一) 1500円 ■琉球の伝承文化を歩く八重山・石垣島の伝説昔話(二) 2000円

ISBN978-4-8382-3388-5

中世奥羽の自己認識

入間田宣夫著 46/ 上製本・定価 3300 円《本体 3000 円》

中世奥羽の言説空間に生きる人びとが京・鎌倉発の圧倒的な文化的影響に向き合う中でいかに自前の系譜認識をかたちづくり、自らのアイデンティティを築き上げたのか。平泉藤原・津軽安藤（東）・伊達・和賀・閉伊・大江・柏山・戸沢・津軽ほか人々の換骨奪胎、反転・逆転のいとなみを明らかにする。

目次

- I 京・鎌倉の西南風が吹きよせるなかで
 - 1章 中世奥羽における系譜認識の形成と在地社会
 - 2章 『新羅之記録』を脱構築する—中世北方史の見直しによせて—
- II 語りもの文学から歴史学へ
 - 3章 奥羽諸大名家における系譜認識の形成と変容
 - 4章 津軽一統志における系譜認識の交錯
- III 人から神へ—本地物語における基本的なプロットについて—
 - 5章 岩木山と花若殿・安寿姫の物語
 - 6章 岩木山の祭神をめぐる研究史を振りかえって
 - 7章 鹿角四頭と五の宮の物語
 - 8章 塩竈大明神の御本地
(付論) 菅江真澄の流儀
- IV 平泉伝説のゆくえ
 - 9章 伊達の平泉伝説
 - 10章 小萩観音の霊験譚と奥州国分荘の歴史学
 - 11章 平泉の姫宮と衣河殿—二人の謎の女性の物語—
- V 北方海域における境界儀礼と在地信仰の風景
 - 12章 人魚供養札の背景に
 - 13章 千葉大王御子の物語によせて

2021/7/9発行



ISBN978-4-8382-3385-4

歴史のなかの音

音がつなぐ日本人の感性

笹本正治著 46/ 並製本・定価 3080 円《本体 2800 円》

歴史の場で打ち鳴らす、戦乱の世に響き渡る人間が生み出す音。神の動き、異変や事件を伝える人間が作り出すことの出来ない音。日本の歴史において音にはどのような意味と目的があったのか。中世から近・現代まで時代や地域に流れる豊かな音の世界を往来する。

目次

- 第一章 音への視点
 - 神社の鈴と仏壇のキン—身辺から考える過去と現在
 - 「伝える」手段としての音—戦国時代を中心にして—
- 第二章 鳴動と中世の音
 - 神と人をつなぐ音—中世の音と声—
 - 中世の音を探る—神出現の音を求めて—
 - 中世の一族意識と村—釜井庵と夜泣石—
- 第三章 変化する音への意識
 - 中世の音・近世の音
 - 文学と音—島崎藤村『破壊』から—
 - 高野辰之の唱歌と音—地域の歴史と伝えるべきこと—

2021/7/2発行



ISBN978-4-8382-3387-8

国語教科書の 定番教材を検討する！

教科書でつくられる日本人の教養

東京学芸大学石井正己編 A5判・カバー装・208頁 定価：1800円＋税

小・中・高校の国語教科書に長期にわたり掲載されてきた、基本の「定番教材」を国公立・私立をまじえた現役教師と研究者が「作品の成立・刊行」「教科書採択の歴史」「作品の研究」「教材の評価」「関連する作品」「新しい読みの提案」というテーマを押さえ最新の研究成果をもとに、総合的にとらえなおしたはじめての取り組み。

現場の教育者のみならず、国語の授業を受ける学生や保護者、作品に身近な図書館関係者などへ新風を吹き込む試みとしての一書。授業では知りえなかった発見へと誘う。

【目次】

なぜ国語教科書の定番教材を検討するのか（石井正己）

小学校編

おおきなかぶー累積昔話の構造を意識した授業へ（加藤康子）
いなばの白うさぎー義務化された神話教育の曖昧さ（石井正己）
かさこじょう■岩崎京子■一作者が伝えようとする「清福」の思想（加藤康子）
百人一首■藤原定家撰■一教師の教養が授業の基礎になる！（石井正己）
スイミー■レオ・レオニ■アイデンティティー探しの物語（井上陽童）
やまなし■宮沢賢治■「イーハトヴ童話」として捉える（大澤千恵子）
ごんぎつね■新美南吉■ごんの真心の行方を考える（井上陽童）
一つの花■今西祐行■「一輪だけのコスモス」に託された願い（井上陽童）
白いぼうし■あまみきこ■事実の奥の真実を垣間見る物語（大澤千恵子）
故事成語ー漢文学習の導入と日本の言語文化の意識化（松原洋子）

中学校編

竹取物語ーメディアによる享受と教室での読み（田中成行）
平家物語ー章段単独で読む偏りを越える（出口久徳）
徒然草■兼好法師■繰り返される「つれづれなるままに」（田中俊江）
万葉・古今・新古今ー惚れさせる内容の一大転換はできたか（愛甲修子）
おくのほそ道■松尾芭蕉■一継続して採録された幸せな作品（手塚翔斗）
走れメロス■太宰治■一群众・少女に透けるアイロニー（赤星将史）
故郷■鲁迅■一新たな「私」の捉え方（数井千春）
少年の日の思い出■ヘルマン・ヘッセ■一語りの理論にもとづいた解釈（川嶋正志）
現代詩ー吉野弘を視座に概観する（疋田雅昭）
春望■杜甫■一日本文化に与えた影響の大きさ（松原洋子）

高等学校編

伊勢物語ー和歌の特性と散文の語りが生み出す物語（水野雄太）
源氏物語■紫式部■一切り出された教材の可能性（植田恭代）

更級日記■菅原孝標女■一物語へのあこがれを語る物語作家（中村勝）
雨月物語■上田秋成■一他者理解の困難さを示す物語（手塚翔斗）
舞姫■森鴎外■一同一性の基盤であり続ける他者（小中信孝）
こころ■夏目漱石■一平凡な男の死を特別に見せるレトリック（伊藤かおり）
羅生門■芥川龍之介■一文学的な（読みの方法）を学ぶ意義（多比羅拓）
山月記■中島敦■一次に虎になるのは誰か？（安松拓真）
俳句・短歌ー正岡子規・与謝野晶子を例として（菅俊輔）
史記■司馬遷■一人生訓や格言が溢れる（松原洋子）

音読の効果を再認識する（白勢彩子）
定番教材を脱構築するために（石井正己）
教科書採択データベース案内（安松拓真）

2021/1/20刊行



ISBN978-4-8382-3375-5

お問い合わせ

三弥井書店

電話03-3452-8069

http://www.miyaishoten.co.jp

ご住所・お名前

●条件●注文 返品条件付 FAX 03-3456-0346

ご担当者様名

ご注文数

国語教科書の定番教材を検討する！

冊

貴店印